


☆公害による健康被害を許すな!  
☆自然環境・生活環境の破壊を許すな!



ヤマシャクヤク

# 大阪から公害をなくす会 ニュース

**大阪から公害をなくす会**  
〒540-0026 大阪市中央区内本町2-1-19  
内本町松屋ビル10 370号  
TEL 06-6949-8120/FAX 06-6949-8121  
E-mail : oskougai@coast.ocn.ne.jp  
URL http://oskougai.com/  
発行責任者 金谷 邦夫  
年間購読料一部2,000円(送料共)

## 温暖化問題の現状を学ぶ学習会

2015年2月14日、阪南大学あべのハルカスキャンパスで、公害をなくす会・温暖化問題委員会主催の首記学習会が開かれました。小さな揺れを感じる真新しいハルカス23階の白い会議室に\*\*人が参加しました。二つの報告の要旨をレポートします。

### 気候変動・温暖化とIPCC第5次報告書

青山 政利 (日本科学者会議)

原始地球の誕生は46億5千万年前、その時は灼熱地獄です。地表の温度は1000～2000℃。大気は水蒸気とCO<sub>2</sub>と塩素。海水が水蒸気になりCO<sub>2</sub>濃度は現在の60倍と強い温室効果です。毒物の塩素はNaCl(塩)になりました。表面温度6000℃の太陽から降り注がれる太陽光は、いったん地表や大気で吸収しますが、反射して宇宙空間へ送り返されます。すべて反射してしまうと地表温度はマイナス19℃で、生き物の生存は困難です。CO<sub>2</sub>など温室効果ガスはこの反射熱を取り込んでくれるありがたい存在です。今はこれが増えすぎて異常を起こしている状況です。

25億年前に、海中に植物が大発生しました。植物は二酸化炭素を分解して酸素を放出します。酸素は鉄と結合して酸化鉄をつくり、炭素は植物の中に固定されました。海水中に溜まった酸素は、大気に放出されオゾン層をつくれます。オゾン層は、太陽からの紫外線を吸収し、生物は安心して上陸しました。植物類は地下に閉じこめられ石炭や石油になり、大気中の二酸化炭素が減少し、やっと今のような環境になったのです。

今人間がやっていることはこの逆で、地中の鉄鉱石を取り出して鉄をつくり、石炭を使って温室効果ガスを増やしています。その結果、平均気温上昇や海面上昇、集中豪雨も頻発しています。

日本では、まず、経済成長最優先の見直しです。福井地裁判決で言われました。「本当の国富とは豊かな国土・そこに国民が根を下ろして生活していることです。」と。競争社会を否定し、ローカルな経済圏を大事に、みんなで生きる社会を大事にしましょう。

### 地球温暖化問題と国際交渉 ～ COP20 リマ会議に参加して～

早川 光俊 (NPO法人地球環境市民会議専務理事)

はじめに、温暖化は防げません。どんなに削減しても止まらないのです。だから、一刻も早く世界各国はCO<sub>2</sub>削減に取り組まなければなりません。私は、日本のNPOとして、COP(気候変動枠組み条約締結国会議)にほとんど参加し、日本国の責任を痛感しています。

気候変動枠組み条約は1992年のリオサミットで合意されました。97年COP3 京都では、各国の削減目標を掲げた画期的な「京都議定書」が採択されました。05年最後に残っていたロシアが批准し「京都議定書」は国際法として発効しました。09年のCOP15 コペンハーゲンでは、過去最高の120ヶ国が参加しましたが、2013年以降の削減目標を定めるコペンハーゲン合意は「留意」に留まりました。2020年以降の削減目標や対策を決める決定的に大事な会議は、2015年COP21 パリ会議です。いま、「先進国」では、京都議定書の第2約束期間参加国のEUとオーストラリア。2020年の削減目標を決めたカンクン合意に参加する、アメリカ・カナダ。「途上国」は、「成り行き」排出量から「排出抑制」を目指して適切な排出削減策を実施する方向です。

国際交渉の課題は、地球の平均気温の上昇を2℃未満でとどめることです。そのためには世界全体の排出量を440億トン以下にする必要がありますが、現在の各国の目標では540億トンと100億トン超過です。均衡のとれた公平な削減目標が立てられるか？ 毎年1000億ドルの資金援助は？ IPCCの科学的提案を政治的交渉の中でどう反映させるのか？ 気温の2℃上昇の限界まであと30年です。

それでも国際交渉は前進しています。情報に精通し・自立し・行動する市民(環境NGO)なくして地球規模の環境問題の解決はありません。

- 2℃を超えるまで30年足らず**
- CO<sub>2</sub>の累積総排出量と平均気温の上昇は比例関係。
  - 2℃未満に抑えるための、累積総排出量は約2兆9000億トン。すでに約1兆9000億トンを排出し、残された量は約1兆トン。現在の排出量は年350億トン。29年で1兆トン。

